

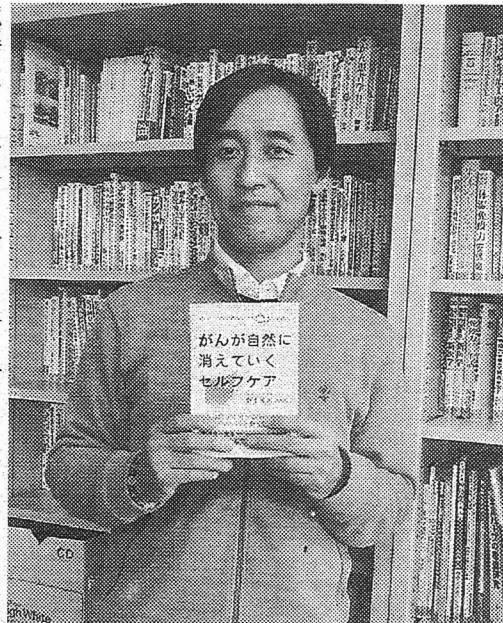


『がんが自然に
消えていくセルフケア』
がん体験者支援する薬学博士
野本篤志さんが発行
5人にプレゼント

がん体験者とその家族を支援するラポールの会主宰で薬学博士の野本篤志さん（土浦市、54歳）が、がん患者の手助けになればとこれまでの研究や体験から得た情報を本に

まとめ発刊した。

『がんが自然に消えていくセルフケア』と題した本は、局所的な治療が先行する患者不在の医療ではなく「がんは心を含む全身の病気」ととらえ、患者自身が病気と向き合う際の手引書にと約1年がかりでまとめたもの。野本さんは大手製薬会社で12年間薬学の基礎研究に従事し、動脈硬化の研究で薬学博士号を取得。さらに臨床開発部門で多くの部下を率いながら経口糖尿病薬の開発プロジェクトリーダーを10年務めたところ、母が2度目のがん（胆管がん）を発症して手術。その後、抗がん剤使用を勧められたが自身の知識や国内外の情報を調べて代替医療を選択。結果、母のがんは検査で確認できないまで



「病気と向き合う人の手助けになれば」と本を手にする野本さん

寛解し、4年後に胃がんを発症した時も同様の代替医療により10カ月でがんが寛解した。こうした体験から多くのがん患者に治療の選択肢や正しい情報を伝えたいと、22年勤めた製薬会社を辞め2007年にNPO法人緑の風ヘルスサポートジャパンを発足。活動の一環としてがん体験者と家族を支援する会を立ち上げた。本著はその活動の中で発信してきた情報に加え、日本のホリスティック医学の第一人者とされる帯津良一さん（帯津三敬病院名誉院長）との対談も収録し、養生訓や死生観などを収録している。現代理書林発行、1365円。県内の主な書店やアマゾンネット通販で取り扱い。野本さんへの問い合わせはメールで。

aonomoto@kmj.biglobe.ne.jp

本書を5人にプレゼント。ハガキに住所、氏名、電話番号を明記して〒300-0083 土浦市桜ヶ丘町7-10 常陽リビング「野本篤志さん本」係まで（27日（金）締め切り）